

『障がい者が歩く 豊かでやさしい世界』

～IQ18 の次郎君とお母さんのスタンダップコメディ～

お話：白岩佳子さんと次郎さん（東京都東大和市 在住）



母 佳子さんから

○「人を信頼する」こと。それが、次郎が地域で生きる力になっているようです。

○私は障がい者と健常者の間にある 重い扉を開けるのが、次郎と私の仕事だと思っています。

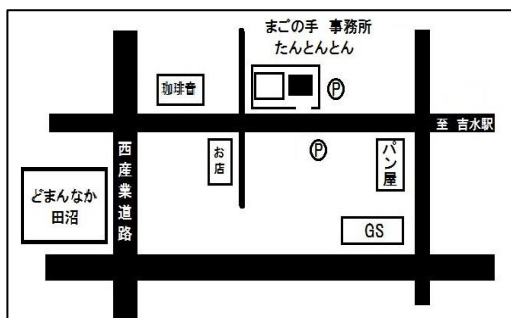
【プロフィール】 次郎は、面白い。

語彙は10くらいで言葉を使えないけど、めっちゃおしゃべり。数の計算は一桁も出来ないのに、お金の計算は4桁まで計算機を使って出来る。字は書けないし読めないのに、ラブレターをもらってくる。ご近所のおばあちゃんが 買い物友達。

ちょっと留守をすると、いろんなおばあちゃんから「最近見なかったね」と、めっちゃ声をかけられる。子どもに穴が開くほど見られる。言葉を話せないことを、ぜんぜん 不自由に思っていない。むしろ、聞いてくれるだけで喜ぶ。伝わると、めっちゃ喜ぶ。笑い声が大きい。子どもがめっちゃ振り向く。

と き：5月17日（水）午後1:30～2:30

ところ：NPO法人 まごの手 ふれあいハウスたんたん



みなさま

ぜひ！おいで下さい

（入場無料）

お問合せ 認定 NPO 法人まごの手 ☎0283-85-8720